



## カウンセリングルームだより

Vol. 35 (2011年10月発行)



『不妊治療やめました。』～ふたり暮らしを決めた日～



堀田あきお&かよ著 ぶんか社

漫画家夫婦みずからの実体験マンガ本の紹介です。タイトルでも分かるとおり、不妊治療の結果子どもを授からなかった話です。不妊治療と格闘し、悩み苦しみ、子どもを持たない暮らしを決断するに至るまでの話を、とてもリアルに描いています。

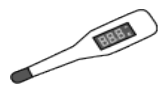
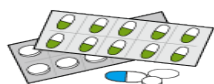
体質改善、中国漢方、和漢、人工授精、体外受精…と、夫婦が次々と会う治療法や医師についての描写が、そのまま不妊治療体験ルポになっていて、治療の終結を考えている方はもちろん、現在治療中の方、これから始める方にも参考になるのではないのでしょうか。

不妊治療はタイミング療法と言って、計画的なセックス指導から始まり、本来の快樂から切り離された「生殖のための性」の究極の姿が浮かび上がって来ます。

しかし本書は、不妊治療の苦痛の告発ではなく、夫妻の明るいキャラと主観的フィルターを通して素直な体験談が描かれています。

卵管造影、精液検査、人工授精 etc…、各種検査や治療にまつわるエピソードは体験者ではないとなかなか分からない部分です。

また、待ちに待った妊娠判定のあまりの嬉しさに、妊娠間もないのに子ども服まで買ってしまった後に流産してしまう様子は、とても辛くて重いところです。



本書のあとがきにはこのように書かれています。

不妊治療は大変だったけれど、不幸だったとは思っていません。二人でいろんなものを乗り越えて、ヨロヨロしながらここまでできました。それは案外おもしろい経験でした。

子どもがいてもいなくても、望んでも望まなくても、それぞれがそれぞれの生き方で、歓びで。認め合って、助け合って、愉快地生きていけたらいいですね。

(2011年6月 堀田あきお&かよ)

～興味ある方お読みくださいね～



人生の中で、図らずも経験した不妊治療体験は、どんな結果になろうとも決して無駄にはならないことでしょう。この経験が夫婦として、人として、大きく成長するターニングポイントになることを祈っております。

### 10月・11月のカウンセリング予定日

10月1日(不妊学級)、8日、14日(金曜日)、28日  
(15日、22日は都合によりお休みします)

11月5日(不妊学級)、12日、19日、26日

